

J R 四国労組ニュース

2024年6月5日（No.28／1）発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

夏季手当交渉開始!!

コロナ禍を乗り越え4期ぶりの黒字決算達成!!

この間の組合員の奮闘に報いるべく

会社に対し誠意ある回答を要請!

【要求内容】

◇ 基準内賃金の **2.3**ヵ月

エキスパート社員 2.7ヵ月 ※基礎額に乗じる係数の撤廃
パートナー社員（月給・日給適用者）

調査期間内の勤務日数	四国地区	大阪地区	列車乗務員	アテンダント
65日以上 120日未満	87,000円	109,000円	98,000円	98,000円
120日以上	174,000円	218,000円	196,000円	196,000円

◇ 支払日 **2024年7月8日（月）**

J R 四国労組は、5月15日に申し入れた申第16号「夏季手当の要求」、申第17号「準組合員（エキスパート社員）の夏季一時金の要求」、並びに申第18号「準組合員（契約社員）の夏季一時金の要求」について、本日第1回目の団体交渉を開催し、主旨説明を行った。

<組合からの主旨説明（要旨）>

J R 四国を取り巻く経営環境は、景気が回復基調にある一方で、人口減少及び少子高齢化の全国に先駆けた進展に加え、急速に進む円安、物価高騰、海外情勢の影響等により先行き不透明な状況にある。一方で、新型コロナウイルス感染症の5類移行に加え、運賃改定等によって鉄道運輸収入が大幅に回復し、2023年度決算においては連結・単体決算ともに大幅な黒字決算となった。

これらの成果は、コロナ禍の3年を含め、厳しい状況下においても、組合員が日夜「安全・安定輸送」を第一義に責任感をもって公共交通が担う使命、また地域を支える企業グループとしての役割を果たしてきた組合員の各職場における奮闘が築き上げた努力の賜物である。

J R 四国労組は「長期経営ビジョン2030」の達成に向け、労使一丸となって支援策の最大限の活用と経営自立にむけた各種施策を推進するとともに、労働組合の立場からも「ユニオンビジョン2023 私たちが考える『持続可能なJ R 四国グループをつくる人財確保』」を提起し、組合員にとって明るい将来展望を切り拓

J R 四国労組ニュース

2024年6月5日（No.28／2終）発行責任者／大谷 清 編集責任者／和田 庄平

くべく取り組んできた。

しかしながら、足もとでは離職に歯止めがかかっておらず、業務運営に支障を来すほど人材確保が極めて重要な経営課題となっており、労使で強い危機感を持って対応する必要がある。今後もJR四国が社会的使命を果たし続けていくためには、コロナ禍の間においても、会社を信じ、共に乗り越えた組合員の想いに応えることが必要不可欠。よって真摯な対応を要請し、誠意ある回答を強く求める。

<交渉委員の主な発言>

- ◆ 2023年度決算においては、長い間コロナで苦しめられた難局から抜け出し、4期ぶりの黒字決算を達成した。これは、組合員が日々安全・安定輸送等に努めてきた結果である。加えて、高松地区での駅ビルの開業等、松山地区での高架切り替え対応なども含めて限られた要員状況のなかで業務を遂行したことによって成し遂げられた。今回の期末手当交渉においては、要求月数等をコロナ禍前の水準に戻したが、これらの状況の分析とともに結果を残したことによる組合員の強い期待感を踏まえたうえでの結論であり、その想いをしっかりと受け止めること。
- ◆ 効率化施策が実施されるも、各職場において離職に歯止めがかからないなか、一人あたりの業務量はむしろ増加しており、働く組合員は疲弊している。中期経営ビジョンの達成等に向け、本年は正念場の一年でもあり、モチベーションの維持・高揚のためにも夏季手当で十分に応えなければ人材流出を招き、業務運営にも影響しかねないという危機感を共有すべき。
- ◆ 各種の物価高騰に伴い、組合員とその家族の生活はひっ迫している。特に期末手当は各種ローンや生活費の補填に充てられているのが現実。2024春闘においては、ベースアップや一時金の支給があり、組合員は連続性のある賃金改善に強い期待感を抱いている。あくまで春闘と夏季手当は別物であり、今回の査定期間である2023年度下半期の決算状況を勘案すれば、要求に応えるだけの体力はある。
- ◆ エキスパート社員や契約社員は業務運営に必要不可欠。改めて夏季手当をもってその評価を行われたい。特にエキスパート社員については、社会保障制度が変化する中、今春闘の一時金と同様に社員と同じ取扱いとして係数を撤廃すべき。

以上

J R四国労組申第16号
2024年5月15日

四国旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 西牧 世博 殿

四国旅客鉄道労働組合
執行委員長 大谷 清



2024年度夏季手当の要求について

J R四国を取り巻く経営環境は、景気の回復基調が継続する見込みであるものの、急速に進む円安、物価高騰、さらには海外情勢の影響により依然として先行き不透明な状況にある。一方、2023年度決算においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に加え、運賃改定などにより鉄道運輸収入が大幅に回復し、連結・単体決算ともに大幅な黒字決算となった。この成果は、日夜「安全・安定輸送」を第一義に責任感を持って公共交通機関が担う使命と、地域を支える企業グループとしての役割を果たしてきた組合員の各職場における奮闘が築き上げた努力の賜物である。

J R四国労組は「長期経営ビジョン2030」の達成に向け、労使一丸となって支援策の最大限の活用と経営自立に向けた各種施策を推進するとともに、労働組合の立場からも「ユニオンビジョン2023 私たちが考える『持続可能なJ R四国グループをつくる人財確保』」を提起し、組合員にとって明るい将来展望を切り拓くべく取り組んできた。

足もとでは離職に歯止めがかかっておらず、業務運営に支障を来しかねないほど人材確保が極めて重要な経営課題となっており、労使で強い危機感を持って対応しなければならない。今後もJ R四国が社会的使命を果たし続けていくためには、コロナ禍の間においても、会社を信じ、共に乗り越えた組合員の想いに応えることは必要不可欠である。

よって、2024年度夏季手当に対して、強い期待感を持って下記のとおり要求するので誠意ある回答をされたい。

記

1 要 求 額 基準内賃金の2.3ヵ月分

2 支 払 日 2024年7月8日（月）

以 上

J R四国労組申第17号

2024年5月15日

四国旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 西牧 世博 殿

四国旅客鉄道労働組合

執行委員長 大谷 清



2024年度準組合員（エキスパート社員）の夏季一時金の要求について

2024年度準組合員（エキスパート社員）の夏季一時金について、士気高揚の観点から下記のとおり要求するので、誠意ある回答をされたい。

記

- 1 基 礎 額 基本賃金及び高年齢調整手当の合計額に2.7を乗じた額
 なお、基礎額に乘じる係数は撤廃されたい

- 2 支 払 日 2024年7月8日（月）

以 上

J R 四国労組申第 18 号

2024 年 5 月 15 日

四国旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 西牧 世博 殿

四国旅客鉄道労働組合

執行委員長 大谷 清



2024 年度準組合員（契約社員）の夏季一時金の要求について

2024 年度準組合員（契約社員）の夏季一時金について、士気高揚の観点から下記のとおり要求するので、誠意ある回答をされたい。

1 パートナー社員（月給・日給適用者）の要求額

調査期間内の勤務日数	四国地区	大阪地区	列車乗務員	アテンダント
65 日以上 120 日未満	87,000 円	109,000 円	98,000 円	98,000 円
120 日以上	174,000 円	218,000 円	196,000 円	196,000 円

2 支払日 2024 年 7 月 8 日（月）

以 上